

介護ロボット導入効果報告書

（ 1年目 2年目 3年目 最終 ）

令和 3年 5月 24日

沖縄県知事 様

令和 2 年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 伊是名村字仲田1687-51
事業主体名 社会福祉法人 いぜん会
代表者職氏名 理事長 東江 初信



事業主体名（法人名等）		介護サービス事業所名	介護サービスの種別
社会福祉法人 いぜん会		特別養護老人ホーム チヂン園	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り機器		介護施設向けみまもりシステム	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リース・レンタルの契約期間
2021年 3月 26日	1台	2021年 3月 26日	年 月 日から 年 月 日まで
【目標の達成状況】			
①達成項目(複数選択可)			
<input checked="" type="checkbox"/> 身体的負担の軽減 <input type="checkbox"/> 心理的負担の軽減 <input type="checkbox"/> 介護時間の短縮 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の効率化 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
②達成内容			
<small>※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)がどの程度達成できたのかについて、数値指標を用いて記載すること。</small> 1日(21時～6時までの間)10回行っている巡回をバイタルセンサーとモニターで確認する事で、巡回を6～8回(3割減)を目指した。1年目の時点で巡回を3回削減した(3割削減)。			
【介護ロボットの使用状況(使用する業務・使用頻度等)】			
<small>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</small> 日中もベッドで臥床する事が多く、離床促すも拒否が多い為本人ペースで職員も行動している。その為、昼夜問わず日中も5時間程使用している。			
【介護ロボットの導入効果(使用する業務・使用頻度等)】			
<small>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</small> これまで臥床時はベッドサイドセンサーで対応していた為、センサーが反応し訪室するまでにはすでに端座位又は立ち上がる寸前であったが、起き上がりセンサーが作動する事で一早く訪室し対応する事ができ転倒予防になっている。また、寝返りや体動でもベッドサイドセンサーが反応しその都度訪室し確認していたが、起き上がりセンサーやモニターを確認する事で不要な訪室はなくなった。			
【介護ロボットの不都合な点の課題】			
<small>※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</small> ・1～2回程度システムエラーがあり、遠隔操作にて業者の担当が修理を行った。			

※1年目の提出時には下記も作成してください

【介護ロボット本体の写真】

※介護ロボットの形状がわかる写真を添付、行の大きさは変更して構いません



バイタルセンサー



見守りシステム

【介護ロボット使用状況の写真】

※実際にベッドや居室に整備した写真、介護ロボットの使用状況の写真を添付。ホームページに掲載しますのでプライバシーの保護に十分配慮してください。